

しょうかてんしゃし なっせんし

昇華転写紙(捺染紙・アイロンプリント紙)の 排出方法についてのお願い

昇華性インクで印刷された転写紙は、製紙原料には使用
できませんので、古紙に混入しないようにしてください。

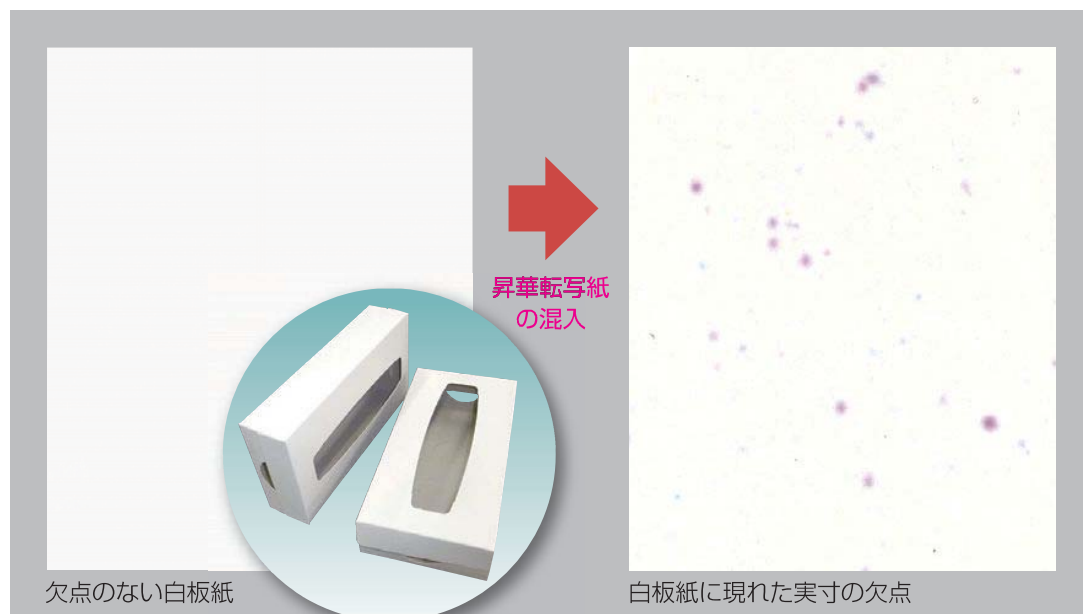
お願いの趣旨

昇華性インクで印刷された昇華転写紙が古紙（製紙原料）に混入すると白板紙*などの製品に大きなトラブルが発生し、お客様や関係者に大変なご迷惑をおかけすることになります。昇華転写紙を取扱われませ皆様、古紙を分別排出される際、絶対に混ぜないようお願いいたします。

製品トラブル(欠点)の例

昇華転写紙が混入すると、つぎのような原因から、以下のような欠点となつて現れ、トラブルを引き起こします。

- ①昇華性インクは、洗浄・漂白など現在の古紙処理技術では完全に除去することができません。
- ②白板紙の中層用の原料に使用すると、**常温で徐々に昇華するため数ヵ月後に表面に現われてきます。**



*白板紙…ティッシュ、日用雑貨、食品のパッケージなどに使用され、多層にすき合わされた構造になっています。

昇華転写紙 (捺染紙・アイロンプリント紙)とは

昇華（固体が液体にならず気化してしまう現象）型の分散染料を含有したインクで印刷された紙で、主にポリエステル繊維に絵柄や文字を転写する際に利用されています。アイロンでプリントできることから雑誌の付録や手芸用の商品として販売されており、一般家庭でも使用されています。昇華転写紙の特徴は、**文字が裏文字で、排出時にはロール状**になっているものが多いことです。



インクジェットプリンタで昇華転写紙に印刷された図柄です。**文字が裏文字**になっています。



昇華転写紙から布などに図柄を転写します。



使用済みの昇華転写紙とア
ンダーペーパーは**ロール状**
で廃棄処理されます。



図柄が転写されたあとのユニホーム生地です。

昇華転写紙の処理

昇華転写紙は、**製紙原料にはなりませんので、焼却処理（RPFなどのサーマル利用を含む）**するよう処理方法をご確認ください。

お問い合わせ先



財団法人 **古紙再生促進センター**

〒104-0042 東京都中央区入船3丁目10番地9号 新富町ビル4F
TEL.03(3537)6822 FAX.03(3537)6823
ホームページ <http://www.prpc.or.jp>